



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月9日

上場会社名 天馬株式会社

上場取引所 東

コード番号 7958 URL <https://www.tenmacorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣野 裕彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・財務経理担当兼総務部長 (氏名) 則武 勝 TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	45,054	15.8	552	37.1	1,064	6.9	405	28.8
2022年3月期第2四半期	38,895	11.1	878	12.8	1,143	21.6	569	100.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 7,130百万円 (169.9%) 2022年3月期第2四半期 2,642百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	18.33	
2022年3月期第2四半期	24.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	101,515	78,963	77.8	3,589.73
2022年3月期	93,984	73,197	77.9	3,299.10

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 78,963百万円 2022年3月期 73,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		40.00		42.00	82.00
2023年3月期		40.00			
2023年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	20.9	2,500	26.9	2,500	2.9	1,900	79.5	85.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	25,313,026 株	2022年3月期	25,313,026 株
2023年3月期2Q	3,316,229 株	2022年3月期	3,126,076 株
2023年3月期2Q	22,106,906 株	2022年3月期2Q	22,960,132 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）における世界経済は、ウクライナ問題が長期化する中、エネルギーと食料品を中心とする価格上昇圧力は依然として強く、またインフレを抑制するための急速な政策金利引き上げ等も重なり、先行きの不透明感が増しております。

日本経済においては、世界経済が失速する懸念はあるものの、米欧に出遅れて、経済活動の正常化を加速させており、また金融緩和が継続される見込みであることから、設備投資やサービス消費の拡大、更にはインバウンド需要回復が牽引し、経済全体の回復が期待できます。

このような状況の中、当社グループにおきましては、2021年5月に公表した「第3次中期経営計画」に基づき、中長期的な成長戦略の実現に向けた基盤構築を進めつつ、各地域や取引先の状況に応じた弾力的な生産体制の維持に努めてまいりました。

この結果、売上高は45,054百万円（前年同期比115.8%）となり、営業利益は552百万円（前年同期比62.9%）、経常利益は1,064百万円（前年同期比93.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は405百万円（前年同期比71.2%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(日本)

ハウスイエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては、物価高騰が続く中、消費者の節約志向は依然として根強く、消費財における消費回復の動きが鈍いこともあり、売上は減少しました。工業品合成樹脂製品分野においては、半導体不足等の影響が徐々に緩和され、売上は微増に転じました。

利益面につきましては、ハウスイエア合成樹脂製品分野及び関連商品の売上減少に加え、昨年度に実施した価格改定以降の更なる原材料価格の上昇等もあり、前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は9,689百万円（前年同期比95.1%）となり、セグメント損失（営業損失）は104百万円（前年同期はセグメント利益317百万円）となりました。

(中国)

ハウスイエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては、上海等におけるロックダウンの影響で物流も停滞し、売上が減少しました。一方、工業品合成樹脂製品分野においては、コロナ禍の影響があったものの、総じて取引先の生産活動が復調していること、また一部取引先における東南アジアからの生産移管が寄与していること、更には円安効果もあり、売上が増加しました。

利益面につきましては、日本と同様、ハウスイエア合成樹脂製品分野及び関連商品における原材料価格高騰の影響はあったものの、工業品合成樹脂製品分野における売上増加で吸収し、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は11,729百万円（前年同期比124.2%）となり、セグメント利益（営業利益）は465百万円（前年同期比109.2%）となりました。

(東南アジア)

地域によって差はあるものの、電子部品等の供給不足が緩和され、生産活動が復調した取引先も多く、また中国と同様、円安効果もあり、売上が増加しました。

利益面につきましては、増産対応のための人件費増加等があったものの、売上増加で吸収し、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は23,636百万円（前年同期比122.7%）となり、セグメント利益（営業利益）は797百万円（前年同期比113.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計期間年度末に比べて7,531百万円増加し、101,515百万円となりました。これは現預金が2,989百万円、建物及び構築物が1,782百万円、原材料及び貯蔵品が769百万円、それぞれ増加したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計期間年度末に比べて1,765百万円増加し、22,552百万円となりました。これはリース債務337百万円、支払手形及び買掛金が208百万円、未払法人税等が171百万円、それぞれ増加したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計期間年度末に比べて5,766百万円増加し、78,963百万円となりました。これは為替換算調整勘定が6,875百万円、控除項目である自己株式が431百万円、それぞれ増加し、また利益剰余金が528百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期連結業績は、2022年5月12日に公表いたしました業績予想に対し利益面について上回りました。詳細につきましては、本日(2022年11月9日)別途公表いたしました「2023年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、為替相場や原材料価格の変動等が流動的である中、当該事象が業績に与える影響も大きいと見込まれるため、現時点におきましては、2022年5月12日に公表した予想を据え置くことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,364,663	30,353,341
受取手形及び売掛金	17,104,604	17,404,527
商品及び製品	3,474,046	3,637,087
仕掛品	711,353	729,828
原材料及び貯蔵品	4,802,790	5,572,247
その他	1,700,291	2,045,257
貸倒引当金	△1,979	△1,101
流動資産合計	55,155,769	59,741,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,368,387	15,150,468
機械装置及び運搬具(純額)	8,585,269	9,024,273
使用権資産	3,153,764	3,465,354
その他	4,093,904	4,129,050
有形固定資産合計	29,201,324	31,769,145
無形固定資産	2,595,040	2,826,389
投資その他の資産		
投資有価証券	4,032,851	4,025,432
退職給付に係る資産	2,214,175	2,238,608
繰延税金資産	141,179	172,658
その他	650,950	749,304
貸倒引当金	△6,903	△7,659
投資その他の資産合計	7,032,253	7,178,343
固定資産合計	38,828,616	41,773,878
資産合計	93,984,385	101,515,064
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,478,595	9,686,886
未払法人税等	372,621	543,936
賞与引当金	826,783	981,358
租税関連費用引当金	128,895	156,106
関係会社整理損失引当金	6,844	873
訴訟損失引当金	—	25,000
事業整理損失引当金	—	51,000
その他	4,022,871	4,640,449
流動負債合計	14,836,609	16,085,608
固定負債		
長期末払金	22,531	13,632
役員株式給付引当金	62,118	70,579
退職給付に係る負債	318,787	382,129
リース債務	3,146,876	3,484,344
資産除去債務	522,367	616,312
繰延税金負債	1,812,871	1,834,594
事業構造改善引当金	65,254	65,254
固定負債合計	5,950,804	6,466,844
負債合計	20,787,413	22,552,452

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	14,856,522	14,856,522
利益剰余金	39,596,800	39,068,778
自己株式	△5,591,856	△6,023,345
株主資本合計	68,086,815	67,127,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	996,970	911,562
為替換算調整勘定	3,328,466	10,203,596
退職給付に係る調整累計額	784,648	720,066
その他の包括利益累計額合計	5,110,083	11,835,224
非支配株主持分	74	84
純資産合計	73,196,972	78,962,612
負債純資産合計	93,984,385	101,515,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	38,894,567	45,053,569
売上原価	32,501,683	38,843,337
売上総利益	6,392,884	6,210,232
販売費及び一般管理費	5,514,881	5,658,053
営業利益	878,003	552,179
営業外収益		
受取利息	62,642	83,909
受取配当金	62,275	65,816
持分法による投資利益	7,484	6,683
為替差益	129,191	329,178
その他	67,491	110,584
営業外収益合計	329,082	596,171
営業外費用		
支払利息	58,148	60,079
その他	6,336	24,551
営業外費用合計	64,484	84,629
経常利益	1,142,602	1,063,720
特別利益		
固定資産売却益	16,141	13,503
受取和解金	—	105,000
特別利益合計	16,141	118,503
特別損失		
固定資産売却損	2,427	467
固定資産除却損	20,625	9,236
関係会社清算損	—	5,331
訴訟損失引当金繰入額	—	25,000
事業整理損失引当金繰入額	—	51,000
関係会社株式評価損	37,566	—
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	116,294
特別損失合計	60,618	207,328
税金等調整前四半期純利益	1,098,125	974,895
法人税等	529,278	569,637
四半期純利益	568,847	405,258
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	568,845	405,258

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	568,847	405,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97,550	△85,407
為替換算調整勘定	2,016,819	6,811,225
退職給付に係る調整額	△57,096	△64,582
持分法適用会社に対する持分相当額	16,167	63,915
その他の包括利益合計	2,073,440	6,725,150
四半期包括利益	2,642,287	7,130,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,642,282	7,130,398
非支配株主に係る四半期包括利益	5	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の購入)

2022年5月12日開催の取締役会において決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の市場買付により、当第2四半期連結累計期間において、当社普通株式190,000株を総額431百万円にて取得し、自己株式が同額増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間末において、自己株式は6,023百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び今後の当社グループに対する業績への影響を合理的に予測することは、現時点では困難な状況にあります。繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損に関する判断に関しては、現時点で入手可能な外部の情報源に基づき影響を分析・評価した結果、将来における当社グループ業績に与える影響は限定的であると仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,190,612	9,441,193	19,262,762	38,894,567
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,797	108,077	69	152,943
計	10,235,409	9,549,269	19,262,831	39,047,510
セグメント利益	316,740	426,043	704,016	1,446,799

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,446,799
セグメント間取引消去	17,500
全社費用(注)	△586,296
四半期連結損益計算書の営業利益	878,003

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	9,688,510	11,728,628	23,636,431	45,053,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,082	216,712	5,330	266,124
計	9,732,592	11,945,340	23,641,761	45,319,693
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△103,634	465,301	797,426	1,159,093

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,159,093
セグメント間取引消去	5,893
全社費用(注)	△612,807
四半期連結損益計算書の営業利益	552,179

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	合成樹脂製品 関連事業	その他(注)	合計
日本	10,176,642	—	10,176,642
中国	9,441,193	—	9,441,193
東南アジア	19,262,762	—	19,262,762
顧客との契約から生じる収益	38,880,596	—	38,880,596
その他の収益	—	13,971	13,971
外部顧客への売上高	38,880,596	13,971	38,894,567

(注)「その他」は、不動産賃貸業であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	合成樹脂製品 関連事業	その他(注)	合計
日本	9,673,065	—	9,673,065
中国	11,728,628	—	11,728,628
東南アジア	23,636,431	—	23,636,431
顧客との契約から生じる収益	45,038,124	—	45,038,124
その他の収益	—	15,445	15,445
外部顧客への売上高	45,038,124	15,445	45,053,569

(注)「その他」は、不動産賃貸業であります。